

おのきた

尾北校長室から

第 34 号



A・Y・A ～ コツコツと

明日から夏休みです。今日は、昨年の夏の私の経験の話をし、夏休みの過ごし方について一緒に考えてみたいと思います。なにげなく過ごすのでは残るものは少なくなってしまいます。これから何をするか、今何をしているのかという意識を明確に持つことが中身の濃い夏休みを過ごすことに繋がります。今回のキーワードは、「A・Y・A」。さあ皆さんの意識はセットされましたか？それでは本題の、昨年の夏の私の失敗の話から始めます。

私は広島市から車で片道 1 時間半かけて通っていて、朝早く夜遅いので、夏場の水やりは夜暗い中でしていました。ある時、家の周りに植えている豆柘植の葉が茶色になってきたので、おかしいなと思っていました。朝の明るいうちに水をやってみると、水は表面何ミリかだけで、その下はカラカラでした、そのことに気づいてからは水が根まで届くことを意識しながら、撒くようにしました。が、枯れ始めた木には時すでに遅し、4本枯らしてしまいました。

この失敗の例から私が皆さんに伝えたいことは、どんなことだと思いますか？少し考えてみてください。何事も何のためしているのかを考え、それができているかを振り返るようにしてほしい、自分がやった気になっているだけのことはないかということです。水撒きをするにしても一定の「量」と一定の「時間」をかけて根まで水を届けないと、撒いている意味は全くありませんね。私も水を撒いた気になっていただけでした。皆さんの生活の中にもそんなことはないか、振り返ってみてください。

もう一つ。我が家では庭の水道栓のところにバケツでホースの水を受けるようにしています。ある時、いきなりバケツから水があふれ出てきて驚いたことがありました。少しずつ水がバケツに溜まっていることが分からず、いきなり溢れ出てきたように見えたのでした。皆さんの中には、勉強しているのに成果が思うほど感じられないと焦っている人はいませんか。そして必要以上に焦ることはない。なぜなら、覚えた知識を使ってやったことのない問題を解く思考力として発揮されるまでに 2 か月ぐらいかかると言われているからです。バケツの水と同じで、一見、何も変わらないように見えても学力はついてきており、続ければある時、一気に成果が見えるまでになります。「A, Y, A」とは、「あせらず・やすまず・あきらめず」の頭文字です。大切なことは、続けるということ。皆さんも**あせらずじっくりと構え、やすまず少しずつ、あきらめず最後まで**、力を蓄えていきましょう。



土の下で静かに成長する木の根は、私たちには見えませんが、次第に石垣やアスファルトを押し上げ、割るまでになります。少しずつだからこそ大きな力が蓄えられていくのです。自分で使える時間が格段に増える夏休み、その時間をどう意識して過ごすかで大きな差がでます。特に 3 年生。勝負の夏がやってきました。絶対に負けられない闘いです。AYA：あせらず・やすまず・あきらめず、「コツコツが勝つコツ」です。1・2年生、3年生をよく見ておいてください。

皆さん一人一人、この夏休み、何かを残す時間となることを期待します。そして夏休み明けには、また全員、元気な顔で会いましょう。